

2012年3月期
第3四半期決算説明会

2012年2月3日

ヤマハ株式会社

2012/3期 3Q決算の概要



3Qの外部環境

- 世界経済は不安定で先行き不透明感が更に増大
 - ・米国は緩やかな景気回復、欧州は各国の債務問題により減速
 - ・中国市場の成長鈍化
- 史上最高水準の円高が定着

3Q(10~12月)の状況

- 対前年同期、対前回予想(12/19発表)ともに減収減益
- 売上高は、対前回予想では為替影響(▲28億円)を含め▲7.3%(▲74億円)の減収、対前年同期では、為替影響(▲33億円)を含め▲7.0%(▲71億円)の減収
- 営業利益は、対前回予想では為替影響(▲3億円)を含め15億円の減益、対前年同期では為替影響(▲4億円)を含め24億円の減益

1~3Q(4~12月)の状況

- 対前年同期、対前回予想ともに減収減益
- 売上高は、対前回予想、為替影響(▲28億円)を含め▲2.7%(▲74億円)の減収、対前年同期では為替影響(▲80億円)を含め▲5.2%(▲148億円)の減収
- 営業利益は、対前回予想では為替影響(▲3億円)を含め12.2%(▲15億円)の減益、対前年同期では為替影響(▲19億円)を含め▲32.8%(▲54億円)の減益

2012/3期 3Q業績



対前回予想、対前年同期とも減収減益

(億円)

	11/3期 (3Q) 実績	12/3期 (3Q) 実績	前年 同期比	前回予想 (11/12/19)	前回予想比
売上高	1,011	940	▲7.0%	1,014	▲7.3%
営業利益 (営業利益率)	71 (7.0%)	47 (5.0%)	▲33.9%	62	▲24.5%
経常利益 (経常利益率)	60 (5.9%)	41 (4.4%)	▲31.2%	52	▲20.8%
当期利益 (当期利益率)	49 (4.9%)	▲1 (—)	—	9	—

為替レート

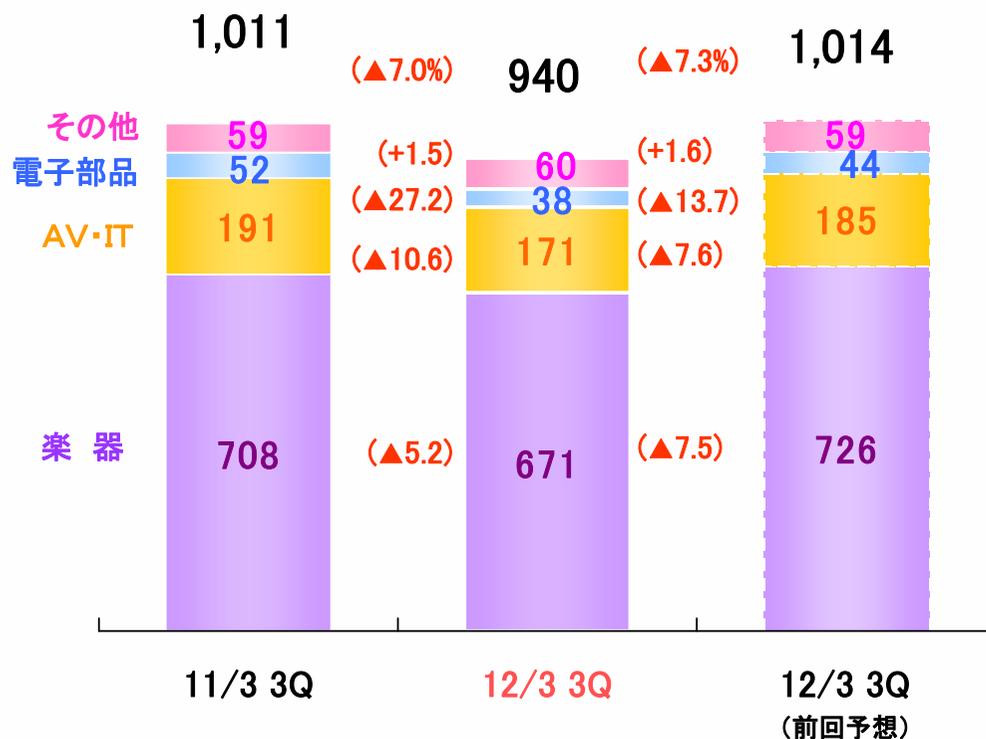
(円)

売上高	US\$	83	77	80
	EUR	112	104	110
利益	US\$	83	77	80
	EUR	111	112	110

2012/3期 3Q事業別業績



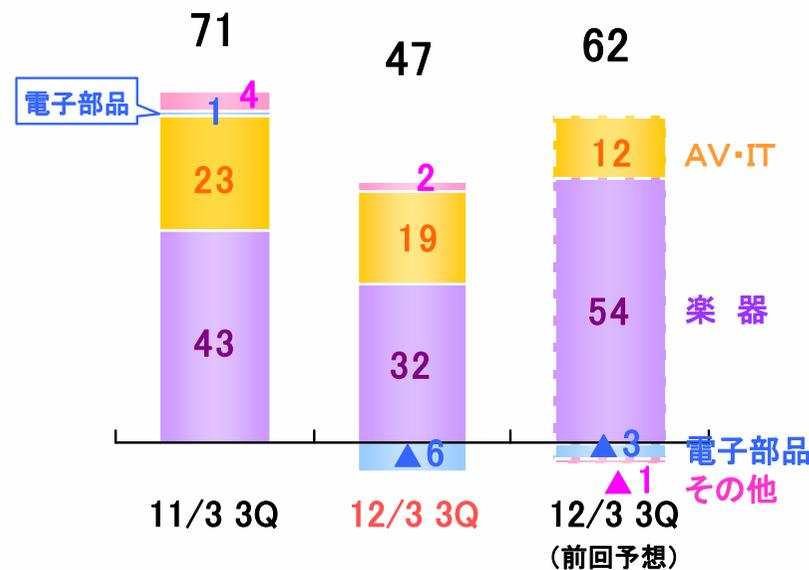
売上高



営業利益

(億円)

(億円)



()内は前年同期比
または
前回予想比

	為替影響額
前年同期比較	▲33億円 (楽器 ▲25億円、AV・IT ▲8億円、 電子部品 ▲1億円)
前回予想比較	▲28億円 (楽器 ▲21億円、AV・IT ▲6億円)

	為替影響額
前年同期比較	▲4億円 (楽器 ▲5億円、AV・IT +2億円)
前回予想比較	▲3億円 (楽器 ▲4億円、AV・IT +1億円)

2012/3期 1～3Q業績



対前回予想、対前年同期とも減収減益

(億円)

	11/3期 (1～3Q) 実績	12/3期 (1～3Q) 実績	前年 同期比	12/3期 (1～3Q) 前回予想	前回予想比
売上高	2,854	2,706	▲5.2%	2,780	▲2.6%
営業利益 (営業利益率)	163 (5.7%)	110 (4.1%)	▲32.8%	125	▲12.2%
経常利益 (経常利益率)	143 (5.0%)	95 (3.5%)	▲34.1%	105	▲10.0%
当期利益 (当期利益率)	100 (3.5%)	27 (1.0%)	▲72.7%	37	▲26.3%

為替レート

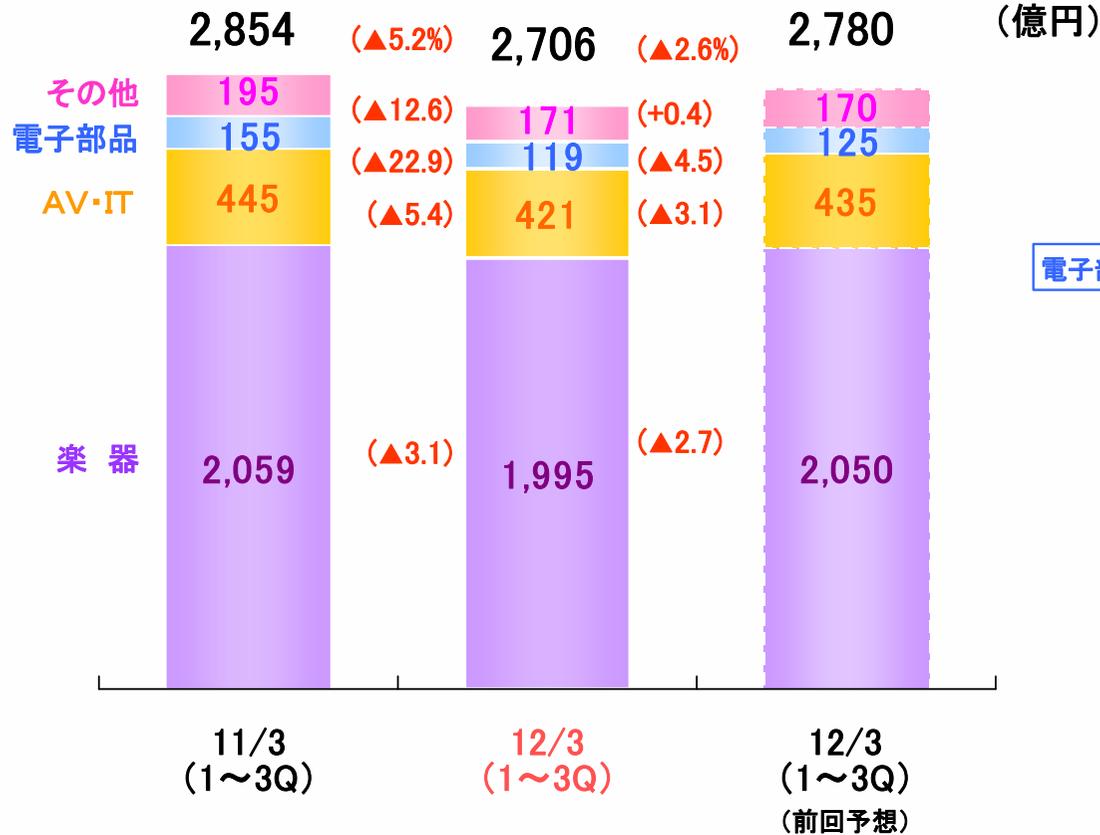
(円)

売上高	US\$	87	79	80
	EUR	113	111	113
利益	US\$	87	79	80
	EUR	116	114	114

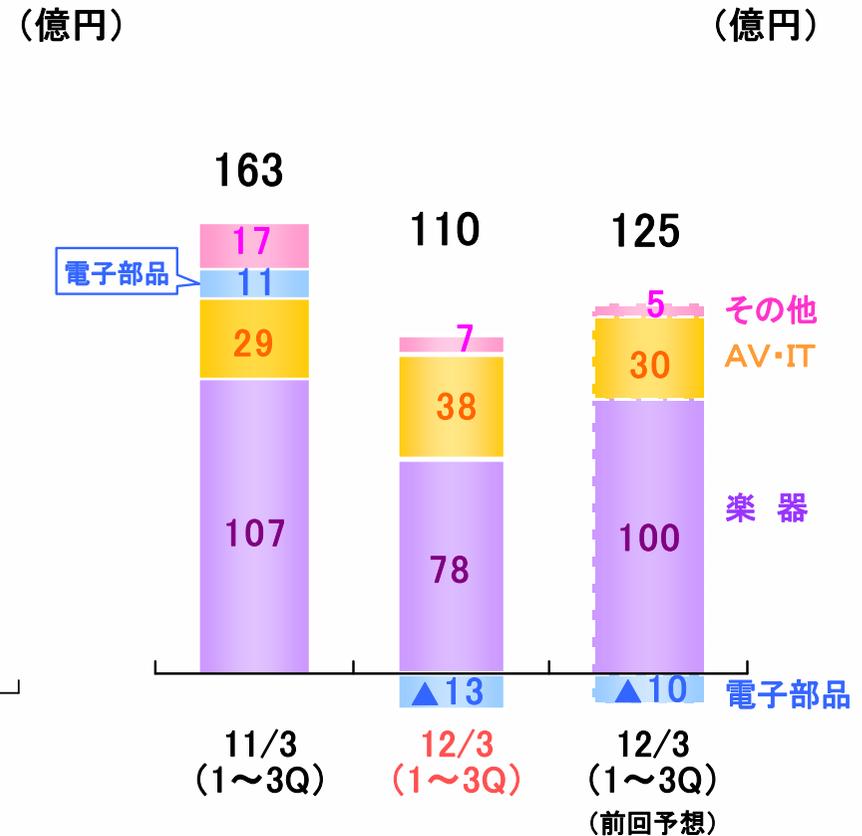
2012/3期 1~3Q事業別業績



売上高



営業利益



()内は前年同期比
または
前回予想比

	為替影響額
前年同期比較	▲80億円 (楽器 ▲63億円、AV・IT ▲15億円、電子部品 ▲3億円)
前回予想比較	▲28億円 (楽器 ▲21億円、AV・IT ▲6億円)

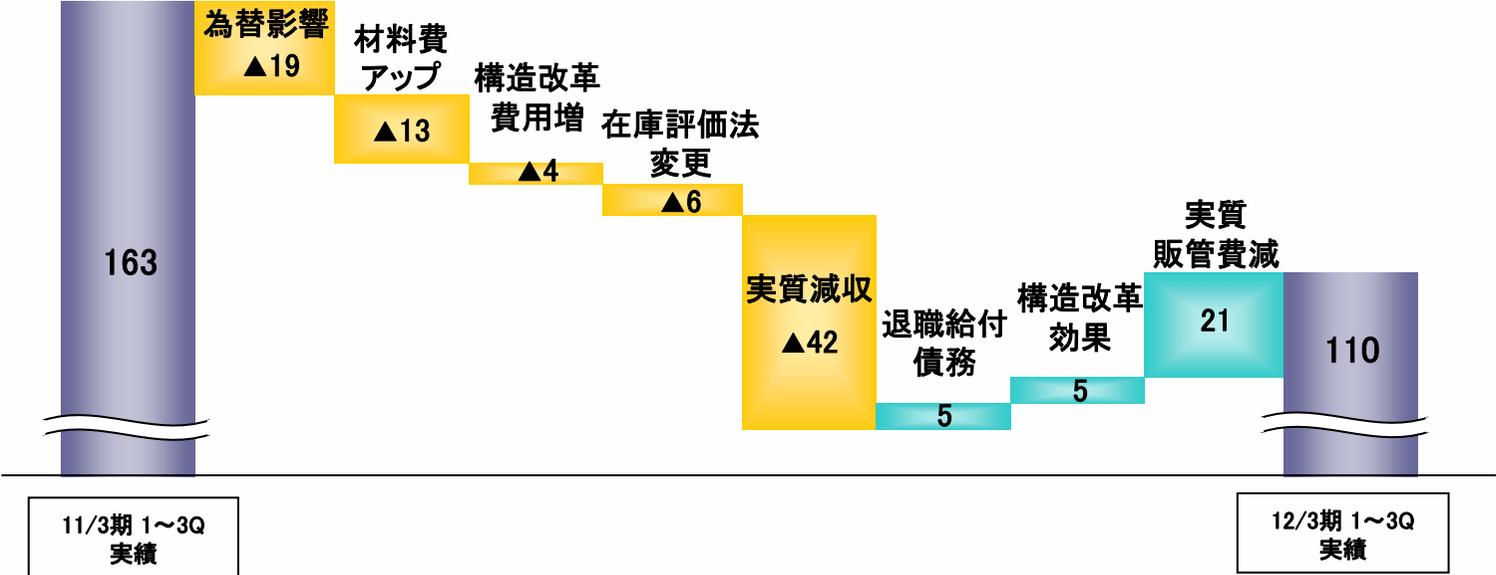
	為替影響額
前年同期比較	▲19億円 (楽器 ▲21億円、AV・IT +3億円、電子部品 ▲1億円)
前回予想比較	▲3億円 (楽器 ▲4億円、AV・IT +1億円)

2012/3期 1～3Q営業利益増減要因

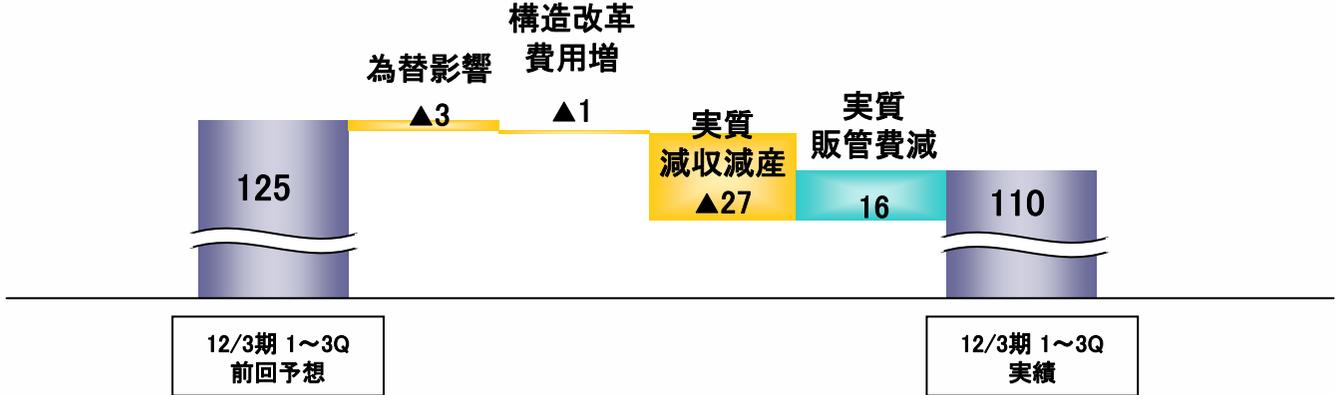


前年同期との比較

(億円)



前回予想との比較



4Qの外部環境

- 欧州市場を中心として不安定な状況の継続
- 高水準での円高基調継続

通期の業績見通し

■ 通期の業績見通しについては、東日本大震災による部品調達難解消後の電子楽器生産遅れの発生とそれに伴う販売機会損失、半導体事業での売り上げ見込み減、一層の円高進行による為替影響の拡大等に加え、タイで発生した洪水による部品調達への影響を織り込み、売上高、各利益とも下方修正。

2012/3期 4Q業績予想



➤ 対前年同期、減収 対前回予想では減収減益

(億円)

	11/3期 (4Q) 実績	12/3期 (4Q) 今回予想	前年 同期比	12/3期 (4Q) 前回予想	前回予想比
売上高	884	834	▲5.7%	910	▲8.4%
営業利益	▲32	▲35	—	0	—
経常利益	▲34	▲35	—	0	—
当期利益	▲49	▲27	—	3	—

為替レート

(円)

売上高	US\$	82	75	80
	EUR	113	105	110
利益	US\$	82	75	80
	EUR	112	105	110

2012/3期 4Q事業別業績予想

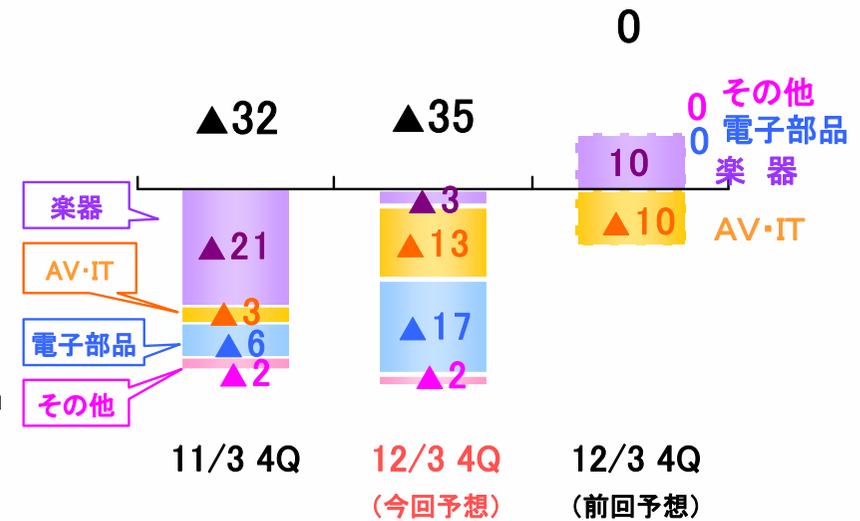
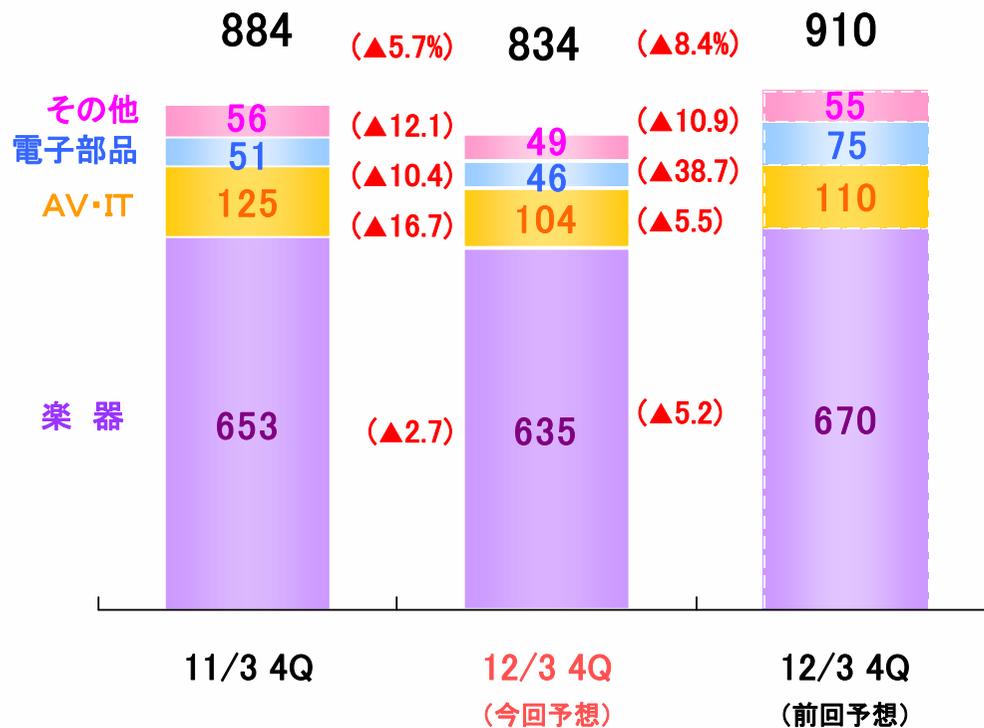


売上高

営業利益

(億円)

(億円)



()内は前年同期比
または
前回予想比

	為替影響額
前年同期比較	▲31億円 (楽器 ▲25億円、AV・IT ▲6億円、電子部品 ▲1億円)
前回予想比較	▲22億円 (楽器 ▲18億円、AV・IT ▲4億円、電子部品 ▲1億円)

	為替影響額
前年同期比較	▲8億円 (楽器 ▲7億円、電子部品 ▲1億円)
前回予想比較	▲7億円 (楽器 ▲6億円、AV・IT ▲1億円、電子部品 ▲1億円)

2012/3期 通期業績予想



- 4Q為替レートは、US\$=75円、EUR=105円を前提
- 通期業績は前回予想に対し減収。営業利益は50億円の減益

(億円)

	12/3期 1Q~3Q 実績	12/3期 4Q 予想	12/3期 通期 今回予想	12/3期 前回予想 (11/12/19)	11/3期 通期 実績	前回予想 変化額	前期実績 変化額
売上高	2,706	834	3,540	3,690	3,739	▲150	▲199
営業利益 (営業利益率)	110 (4.1%)	▲35	75 (2.1%)	125 (3.4%)	132 (3.5%)	▲50	▲57
経常利益 (経常利益率)	95 (3.5%)	▲35	60 (1.7%)	105 (2.8%)	110 (2.9%)	▲45	▲50
当期利益 (当期利益率)	27 (1.0%)	▲27	0 (—)	40 (1.1%)	51 (1.4%)	▲40	▲51

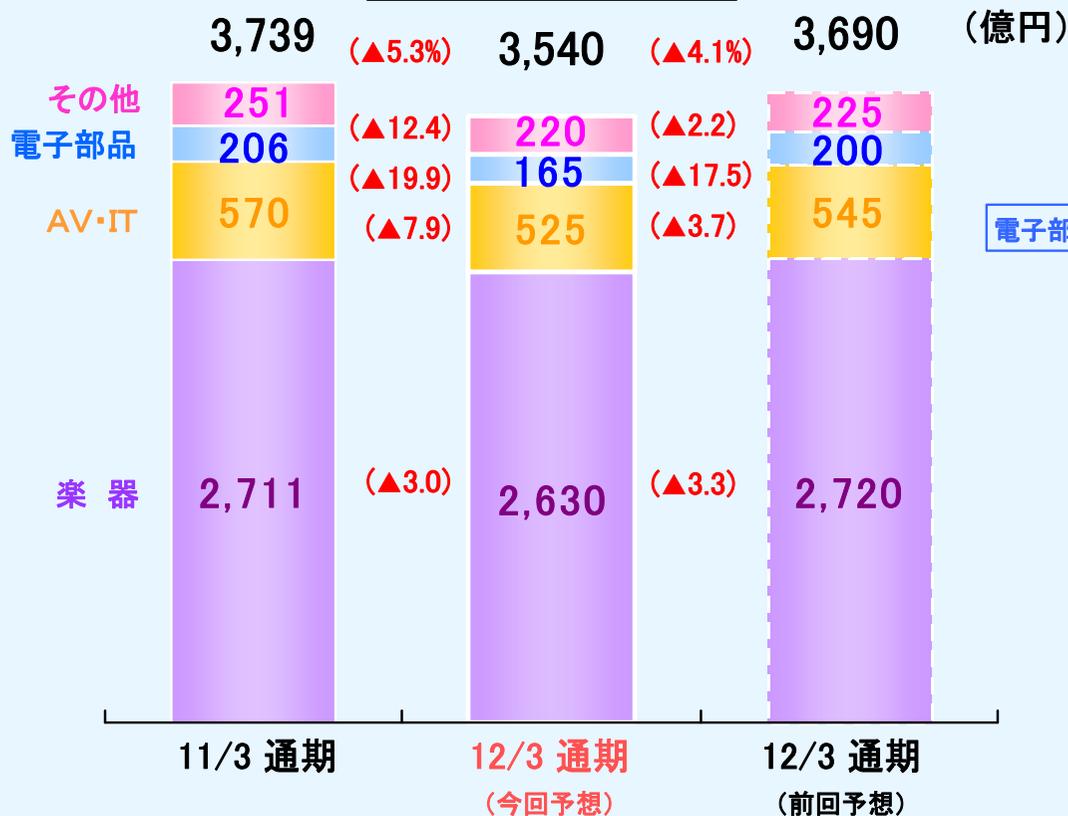
為替レート (円)

売上高	US\$	79	75	78	80	86
	EUR	111	105	109	112	113
利益	US\$	79	75	78	80	86
	EUR	114	105	112	113	115

2012/3期 通期事業別業績予想



売上高



営業利益



()内は前期比
または
前回予想比

	為替影響額
前期比較	▲111億円 (楽器 ▲88億円、AV・IT ▲21億円、 電子部品 ▲3億円)
前回予想比較	▲50億円 (楽器 ▲39億円、AV・IT ▲11億円、 電子部品 ▲1億円)

	為替影響額
前期比較	▲27億円 (楽器 ▲28億円、AV・IT +3億円、 電子部品 ▲2億円)
前回予想比較	▲9億円 (楽器 ▲9億円、AV・IT +1億円、 電子部品 ▲1億円)

東日本大震災及びタイ洪水の影響



影 響		当初予想 (11/5/9発表)	前々回予想 (11/8/1発表)	前回予想 (11/11/1発表)	今回予想 変更なし
部品調達困難 <small>(主に電子楽器、AV機器)</small>	売上高	▲92億円	▲64億円	▲49億円	
	営業利益	▲33億円	▲19億円	▲17億円	
国内消費の冷え込み	売上高	▲45億円	▲24億円	▲18億円	
	営業利益	▲15億円	▲8億円	▲6億円	
顧客の減産対応 <small>(電子部品事業、その他の事業)</small>	売上高	▲33億円	▲29億円	▲28億円	
	営業利益	▲12億円	▲13億円	▲12億円	
合計	売上高	▲170億円	▲117億円	▲95億円	
	営業利益	▲60億円	▲40億円	▲35億円	
生産高影響		▲136億円	▲60億円	▲40億円	

■上記東日本大震災影響の他に以下の影響を想定

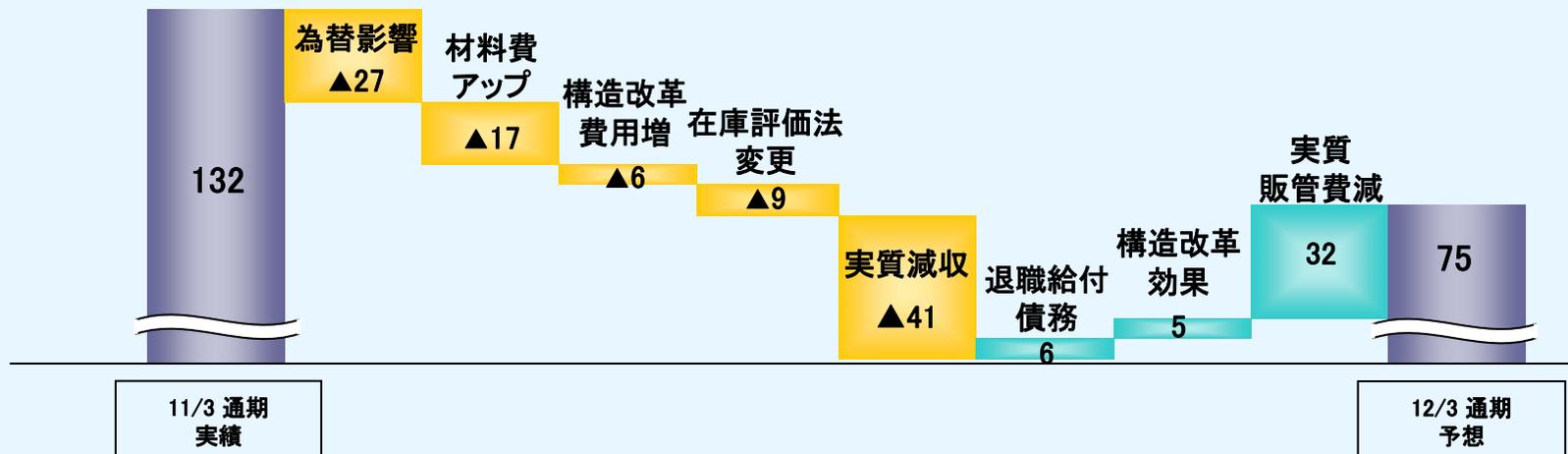
部品供給再開後の生産遅れ	売上高	▲20億円
	営業利益	▲15億円
タイ洪水影響	売上高	▲13億円
	営業利益	▲5億円

2012/3期 通期営業利益予想増減要因

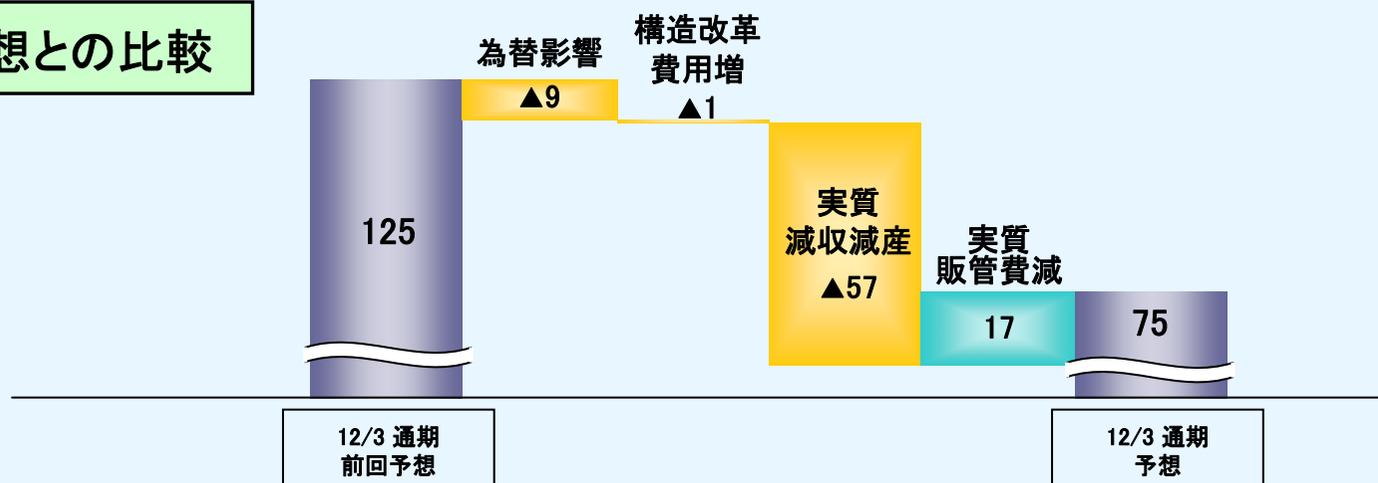


前期との比較

(億円)



前回予想との比較



楽器事業

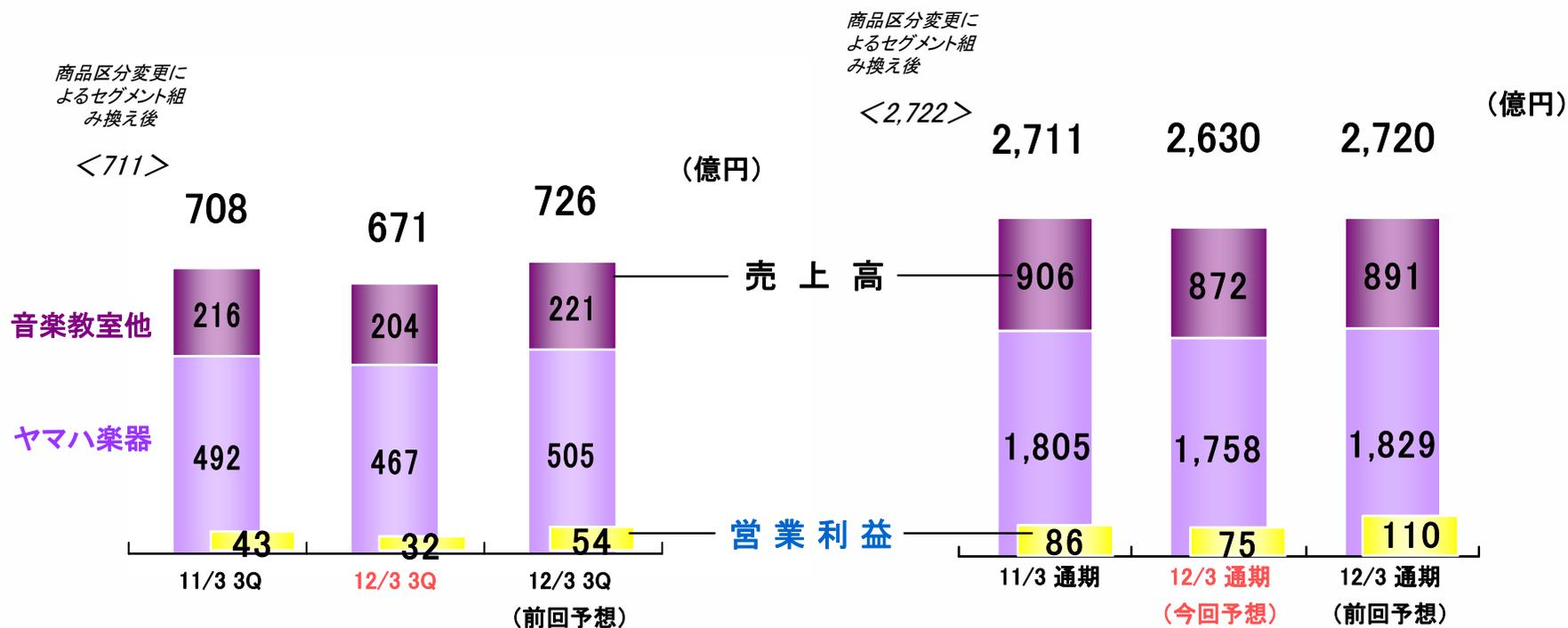


3Qの状況

- ・対前年同期、前回予想ともに減収減益
- ・為替影響を除いた実質売上高は、対前年同期12億円の減収
対前回予想では実質34億円の減収
- ・ピアノ、管楽器、弦打楽器が対前年同期増収となるが
電子楽器は震災影響による供給遅れで減収
- ・欧州市場の減速が顕在化
- ・営業利益は、電子楽器などの減収により対前年同期、
前回予想でも減益

通期予想と4Qの重点施策

- ・対前回予想減収減益
- ・中国、新興国市場の着実な販売網整備
- ・震災影響からの回復と電子楽器の注残の解消
- ・価格改定の実施
- ・国内管楽器工場の一元化の完了

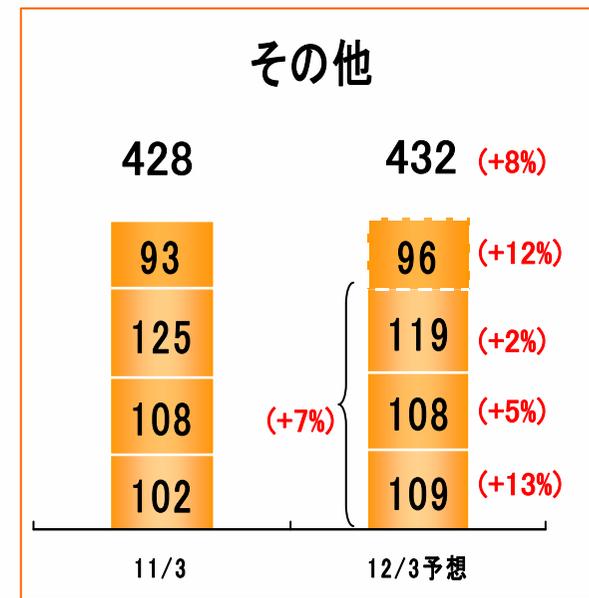
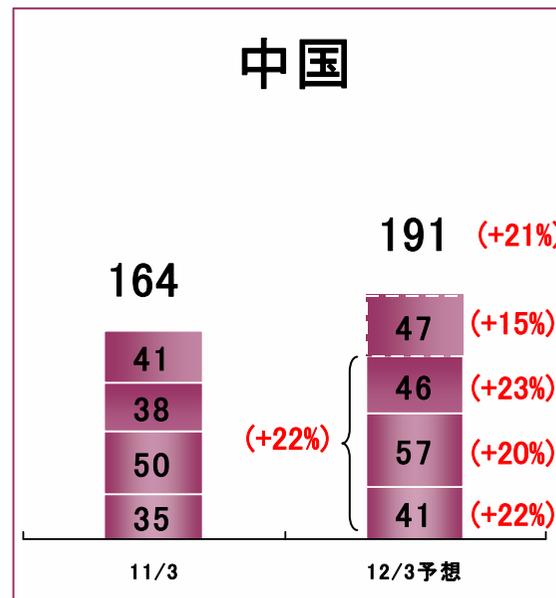
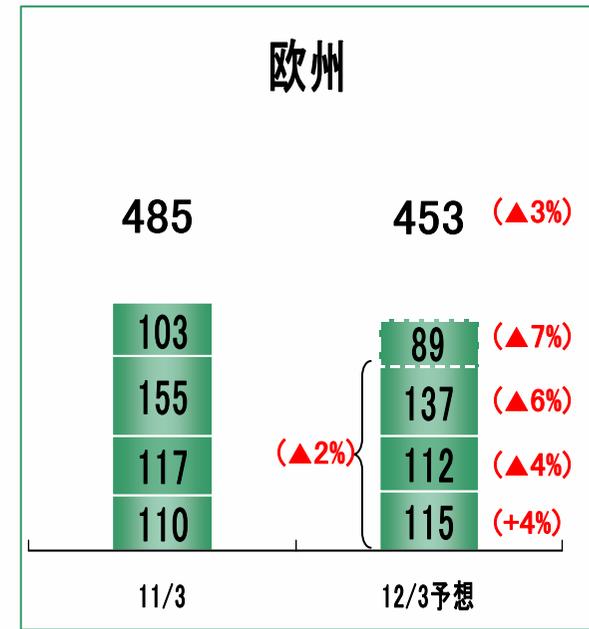
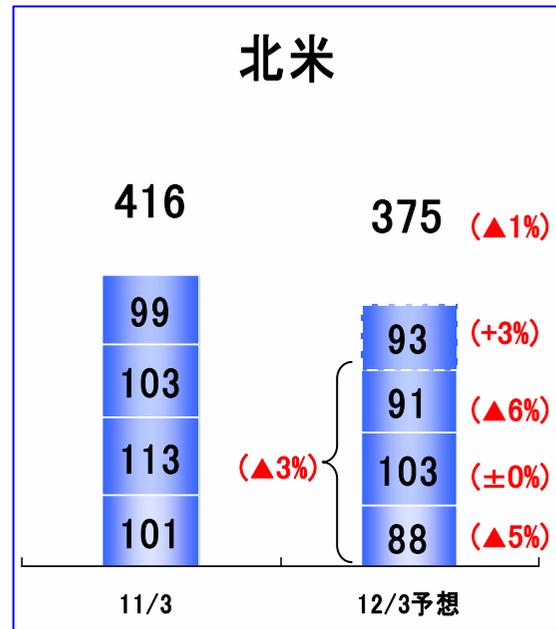
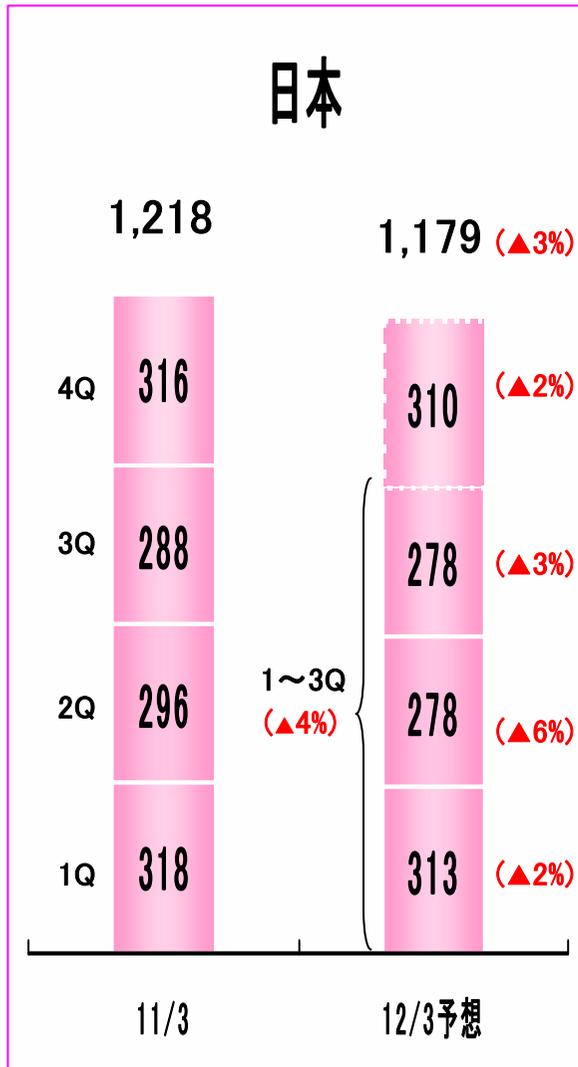


楽器事業(地域別の販売状況)



(億円)

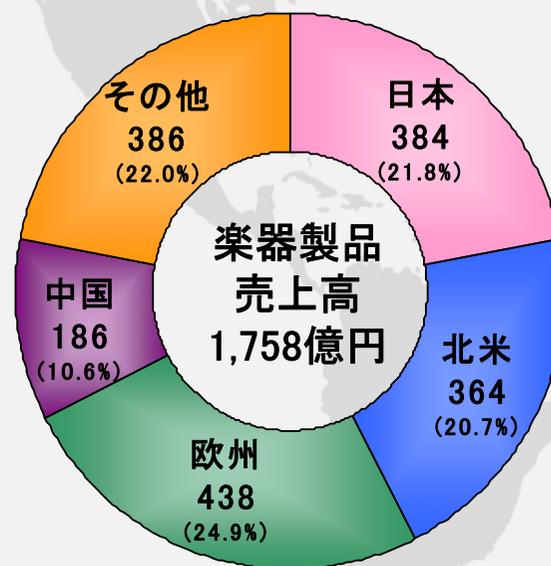
*()内は為替を除いた
実質ベースでの前期比増減



楽器事業(地域別の販売状況)

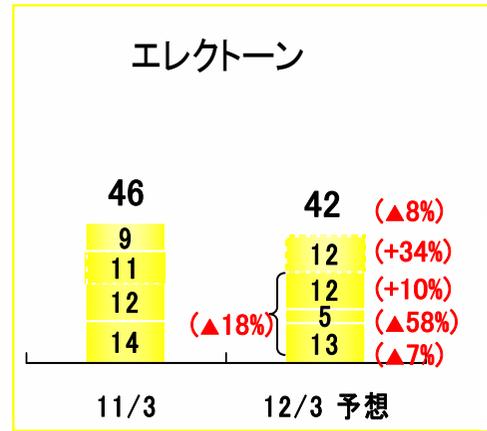
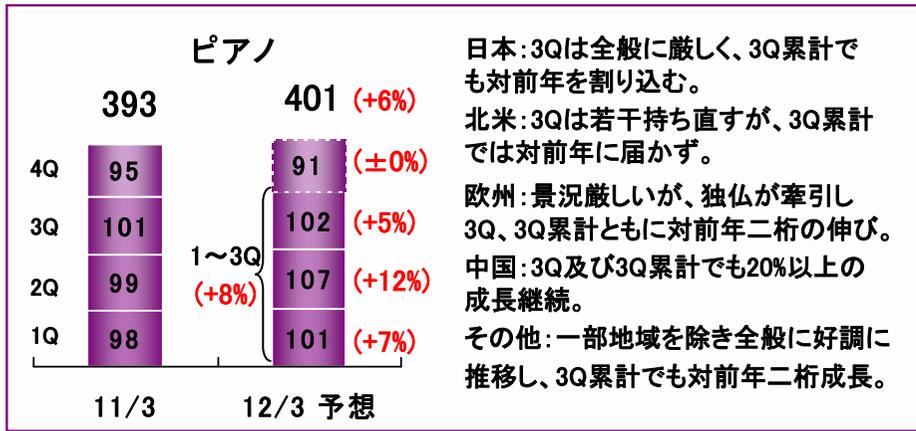
楽器地域別状況	
日本	震災による供給影響があったエレクトーンが3Q出荷開始し堅調に推移、管楽器が前年並み、ギターは前年を上回ったが、主力のピアノが販売店の在庫調整等で苦戦、電子ピアノ、ポータブルキーボードも前年に届かず。新商品ギター・アンプTHRは発売後2カ月で出荷3,000台で年間目標1万台を突破する見通し。楽器全体では前年実績に届かず。
北米	市場全体は景気回復基調。ピアノ、管楽器は3Qは前年実績を上回る。PA機器は、設備音響市場の改善と、NEXO物件好調により前年実績上回る。ギター・ドラムは概ね堅調に推移しほぼ前年並みだが、電子ピアノ・ポータブルキーボードは震災影響による商品供給不足で販売苦戦。3Qの楽器全体では前年実績に若干未達となる。
欧州	欧州経済危機で大きく崩れる不安もあったが、独市場は堅調に推移。仏、英、西が苦戦顕著。販売価格帯別では2極化顕著。商品別ではピアノが好調、前年実績を上回る。電子ピアノ、ポータブルキーボードは震災影響及び生産遅れでキャッチアップ出来ず、前年実績に届かず。管楽器は英で苦戦だが、伊・西が健闘し3Qは前年実績を上回る。アコースティックギターは好調、エレキギターは苦戦。シンセ・電子ドラムが苦戦顕著。
中国	ピアノ、ポータブルキーボードなど主力商品が20%を超える成長を持続し全体を牽引。最廉価アップライトピアノは好評、中高級品や新規投入のグランドピアノの販売増で販売単価もキープ。吹奏楽バンド指導者育成を通じ管楽器も販売増。大陸での販売網整備、2、3級都市への販路拡大、商品ラインアップ充実で更に拡販を目指す。
その他の地域	新興国は、電子楽器の震災影響をピアノ・ギター・管楽器などで補い総じて売上成長を維持。ブラジルを含めた南米全体は底堅く成長を維持している。アジアは、東南アジア(インドネシア除く)の鍵盤楽器が苦戦継続するも、全体では堅調。オセアニアは楽器店の再編などの影響で苦戦。ロシアは、電子楽器・PA機器中心に前年から大幅に伸長。インドも、拡大基調が継続。

楽器製品売上高の地域別内訳



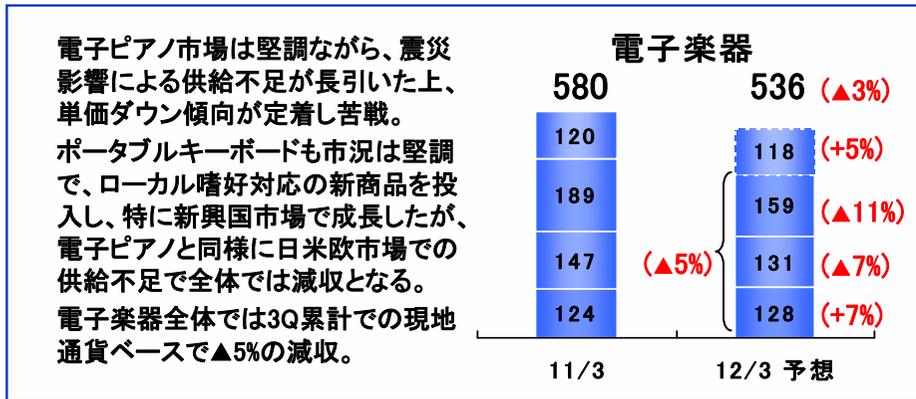
2012年3月期予想

楽器事業(商品群別の販売状況)

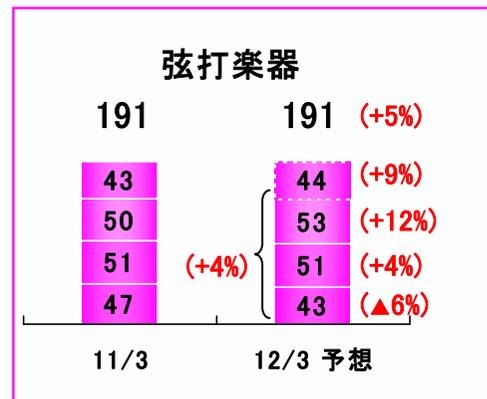
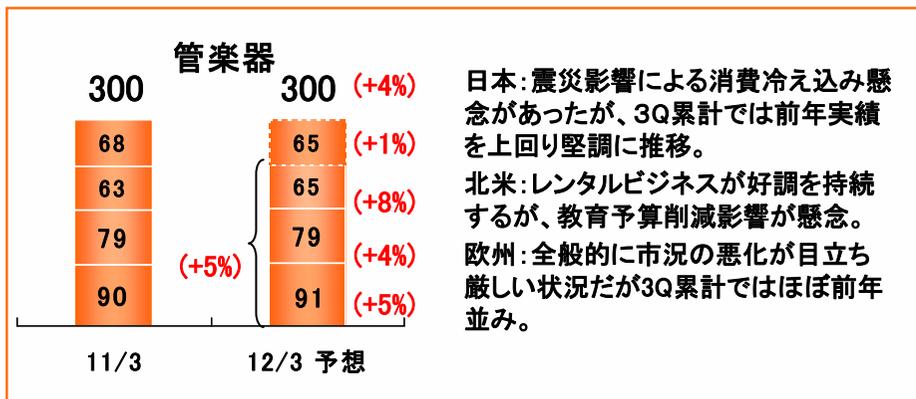
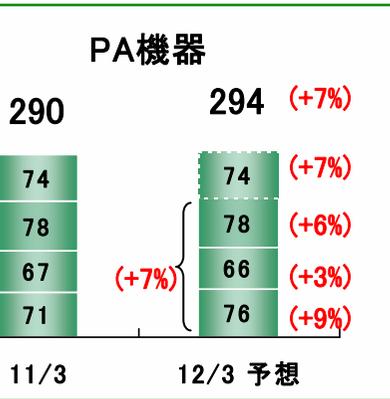


(億円)
*()内は為替を除いた
実質ベースでの前期比増減

部品調達影響から回復し注残の解消が進む。



北米の設備音響は好調に推移も不透明感は継続。
好調であった欧州の楽器店ルート販売も3Qから厳しい局面に入る。
一方、中国及び、ロシア、インド、中南米では好調に推移し、3Q累計では対前年同期を大きく上回る二桁成長

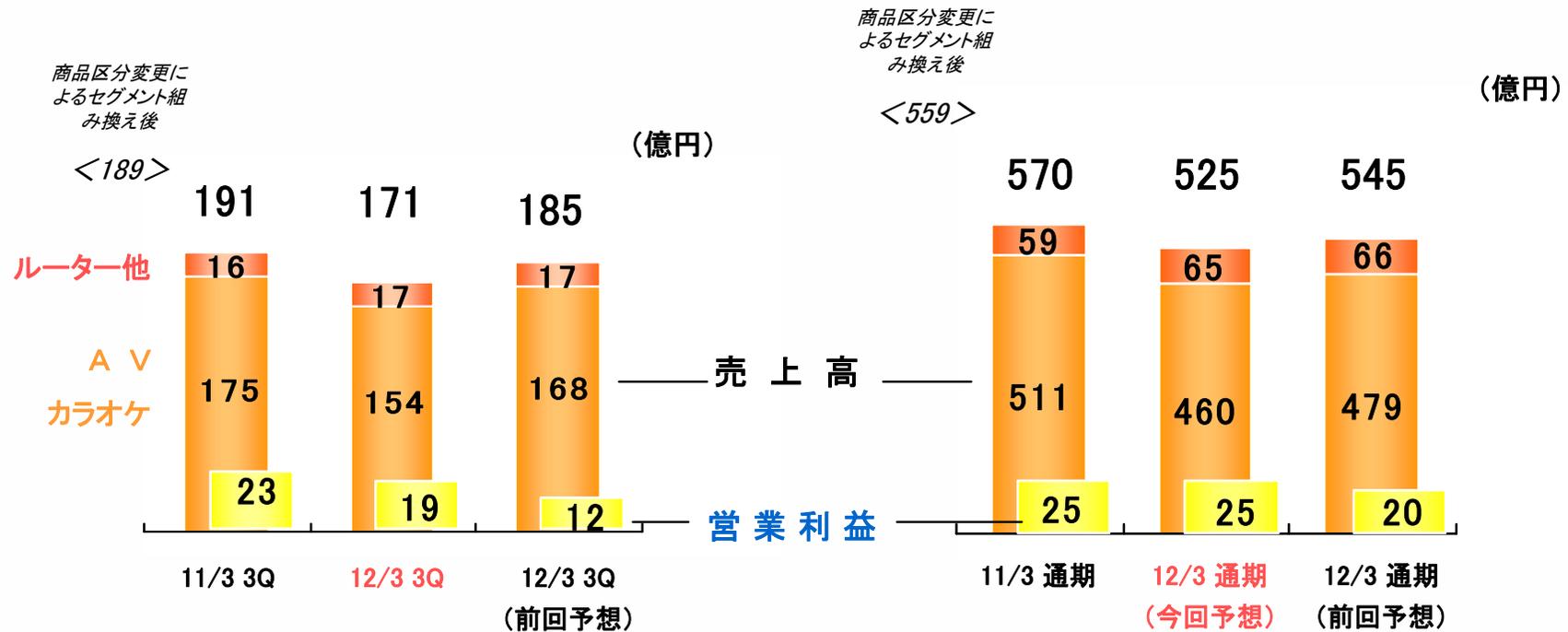


3Qの状況

- ・対前年同期減収減益、前回予想では減収増益
- ・為替影響を除いた実質売上高は、対前年同期▲12億円の減収
- ・国内市場は薄型テレビ需要一巡でTV周辺機器が減収
- ・営業利益では対前年ではカラオケ機器の減益等で減益
対前回予想では増益

通期予想と4Qの重点施策

- ・対前年同期減収、対前回予想では減収増益
- ・先進国での新商品の着実な供給
- ・新興国販売網整備の加速
- ・タイ洪水影響の最小化

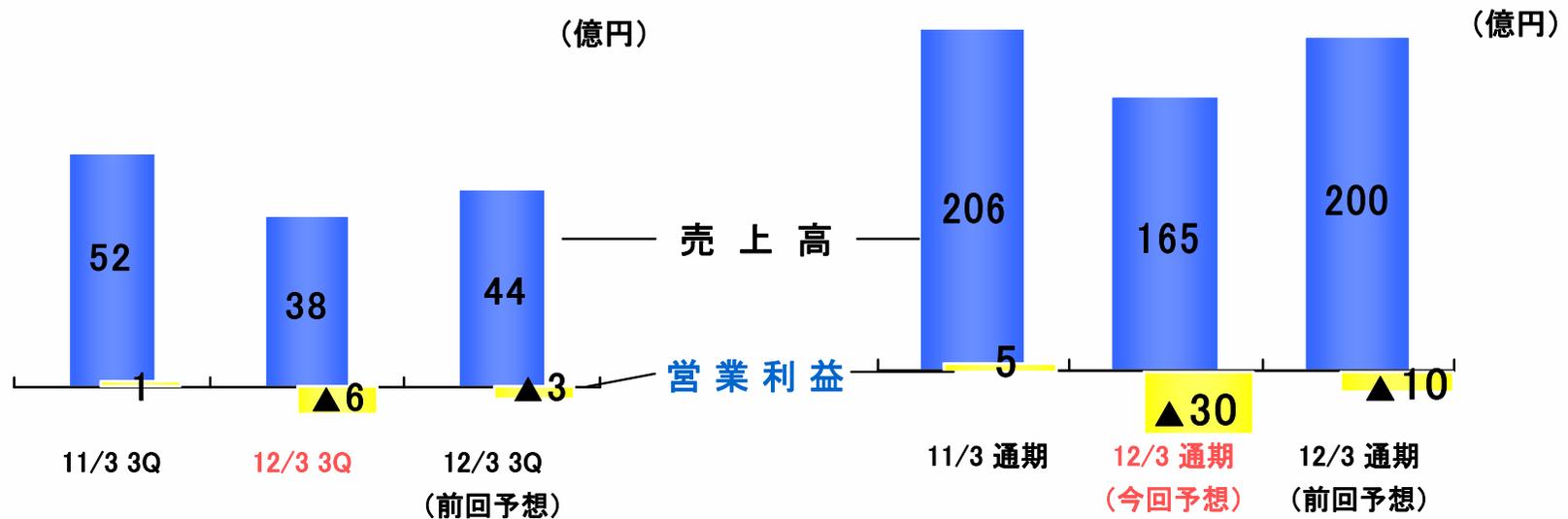


3Qの状況

- ・対前年同期、対前回予想、ともに減収減益
- ・売上高は、完成品メーカーの販売不振、販売価格の低下等でほぼ全ての用途で対前年同期、対前回予想減収
- ・営業利益は減収幅大きく対前回予想に対しても損失拡大

通期予想と4Qの重点施策

- ・対前回予想減収減益
- ・スマートフォン市場、中国家電市場向け販売強化
- ・アミューズメント及び車載市場向け新商品開発強化
- ・一層の原価低減と販売管理費等の圧縮による損益改善



その他の事業

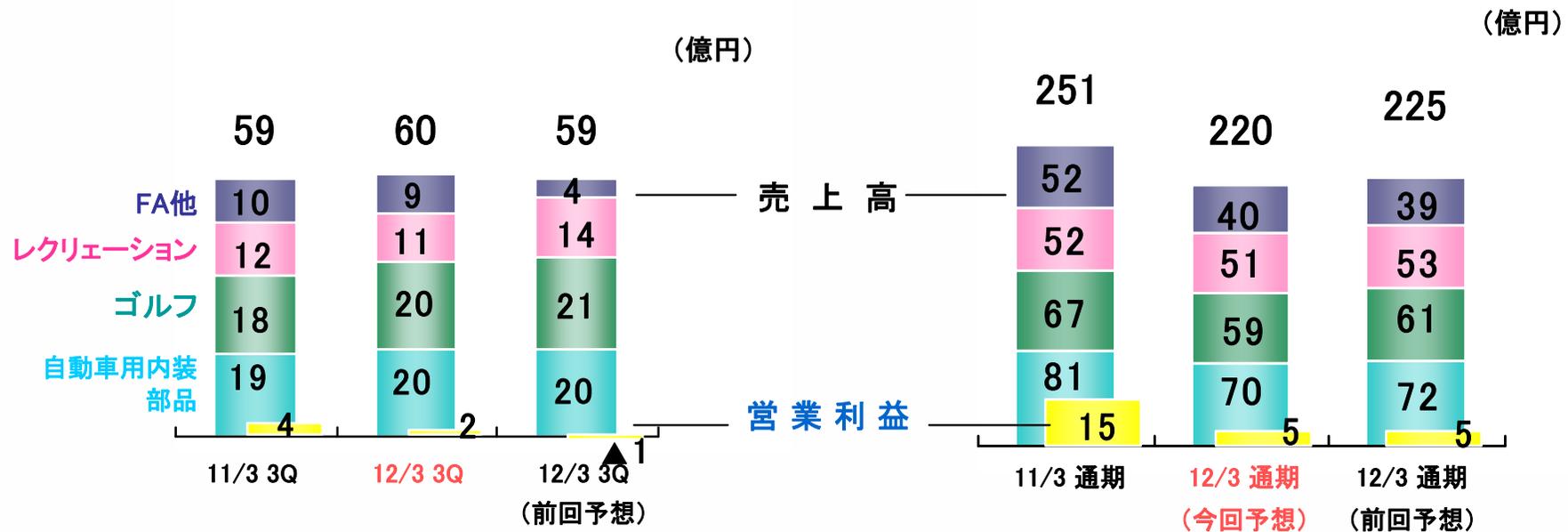


3Qの状況

- ・対前年同期売上横ばい減益
- ・自動車用内装部品は対前年同期増収で前回予想並み
- ・ゴルフは新商品効果で増収も競合激化
- ・レクリエーションは対前年、前回予想ともに減収

通期予想と4Qの重点施策

- ・対前回予想減収減益
- ・自動車用内装部品は、着実な供給と原価低減の継続
- ・ゴルフは、中国市場開拓含め新商品の着実な市場導入



設備投資額・減価償却費/研究開発費

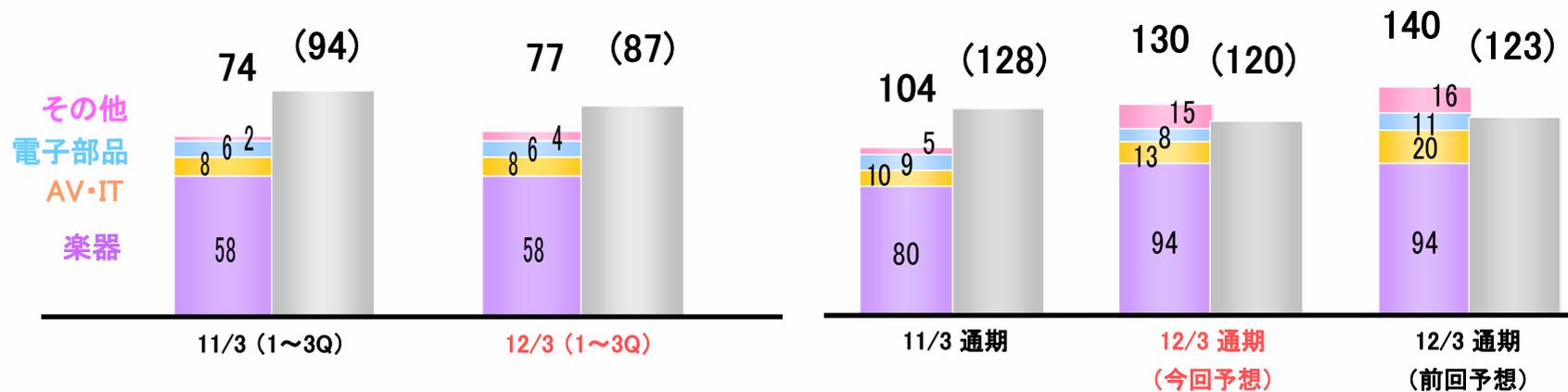


設備投資額(減価償却費)

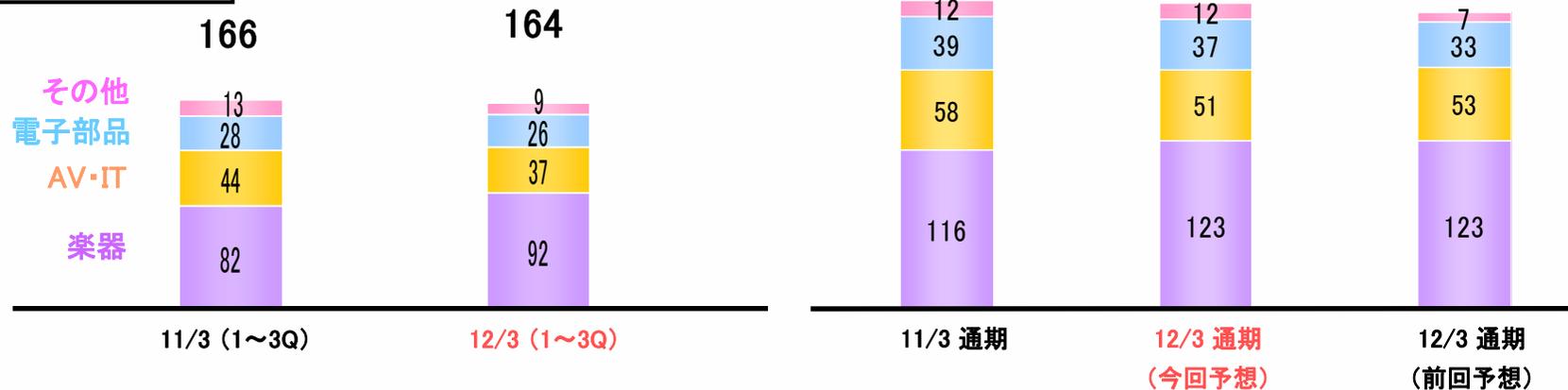
(億円)

1~3Q

通期



研究開発費



棚卸資産



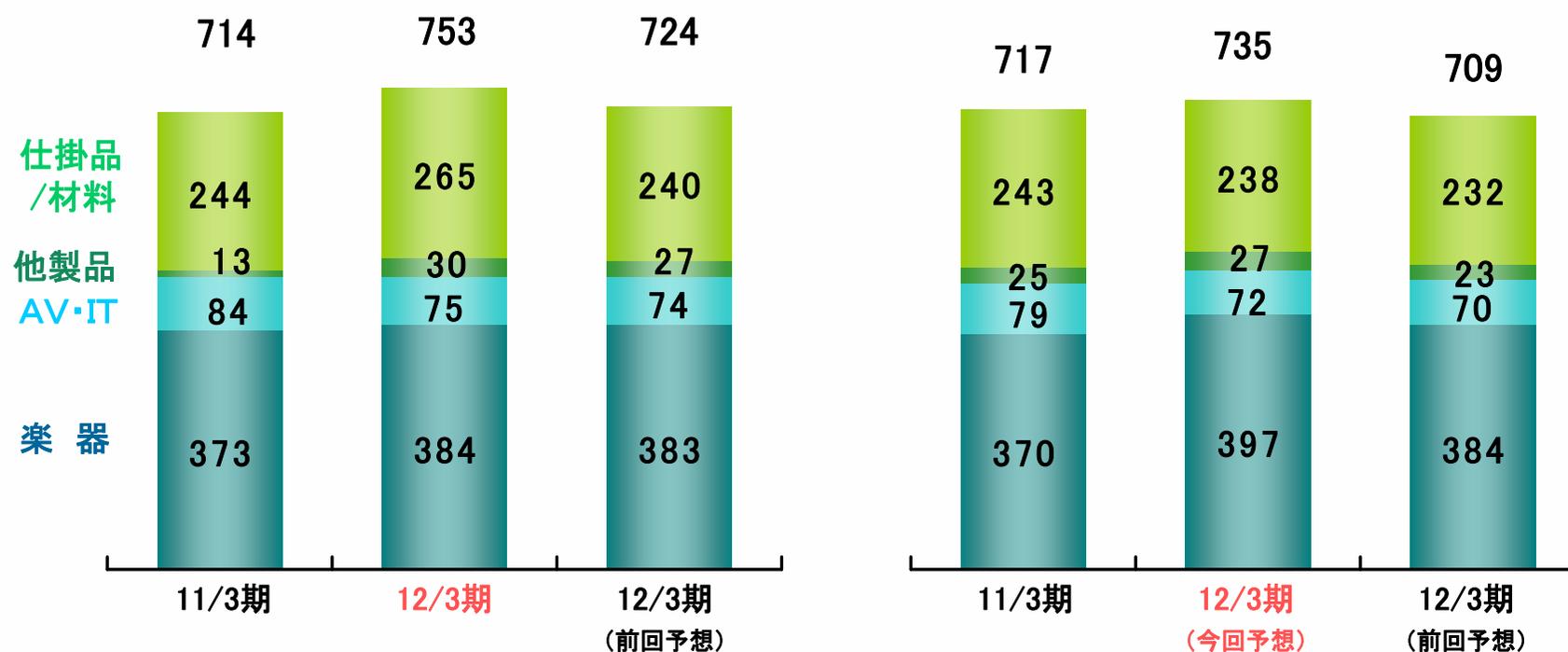
➤12月末総在庫は対前年同期39億円の増加
 (為替影響▲26億円を除けば実質65億円の増加)

➤前回予想に対しては、為替影響を除けば、実質51億円の増加

3 Q 末

期 末

(億円)



為替影響

▲26

▲22

▲36

▲19

貸借対照表



(億円)

	3Q末			期末予想		
	10/12末	11/12末	増減	11/3末	12/3末	増減
現預金	496	532	36	587	561	▲26
売上債権	548	512	▲36	451	398	▲53
棚卸資産	714	753	39	717	735	18
他流動資産	168	146	▲22	192	153	▲39
固定資産	1,954	1,799	▲155	1,962	1,813	▲149
資産計	3,880	3,742	▲138	3,909	3,660	▲249
仕入債務	215	218	3	242	210	▲32
借入金	174	180	6	118	108	▲10
リゾート預託金	159	156	▲3	159	156	▲3
他負債	891	912	21	940	952	12
純資産計	2,441	2,276	▲165	2,450	2,234	▲216
負債純資産計	3,880	3,742	▲138	3,909	3,660	▲249

※現預金残高には譲渡性預金を含む

付属資料

2012/3期 3Q営業外損益、特別損益



	11/3期(3Q)実績	12/3期(3Q)実績	12/3期(3Q)前回予想
			(億円)
営業外損益			
金融収支	1	2	1
その他	▲12	▲7	▲11
計	▲11	▲5	▲10
特別損益			
固定資産処分損益	▲1	0	▲1
その他	5	0	▲1
計	4	0	▲2
法人税他			
法人税等	8	9	4
法人税等調整額	5	33	37
少数株主利益	1	1	0
計	14	43	41

2012/3期 通期営業外損益、特別損益



	11/3期 実績	12/3期 今回予想	12/3期 前回予想
(億円)			
営業外損益			
金融収支	7	14	8
その他	▲29	▲29	▲28
計	▲22	▲15	▲20
特別損益			
		<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券評価損 ▲15 ・減損損失 ▲27 	
固定資産処分損益	▲2	▲1	▲2
その他	▲40	1	▲3
計	▲42	0	▲5
法人税他			
法人税等	43	33	26
法人税等調整額	▲30	25	7
少数株主利益	4	2	2
計	17	60	35

楽器四半期別売上高／営業利益

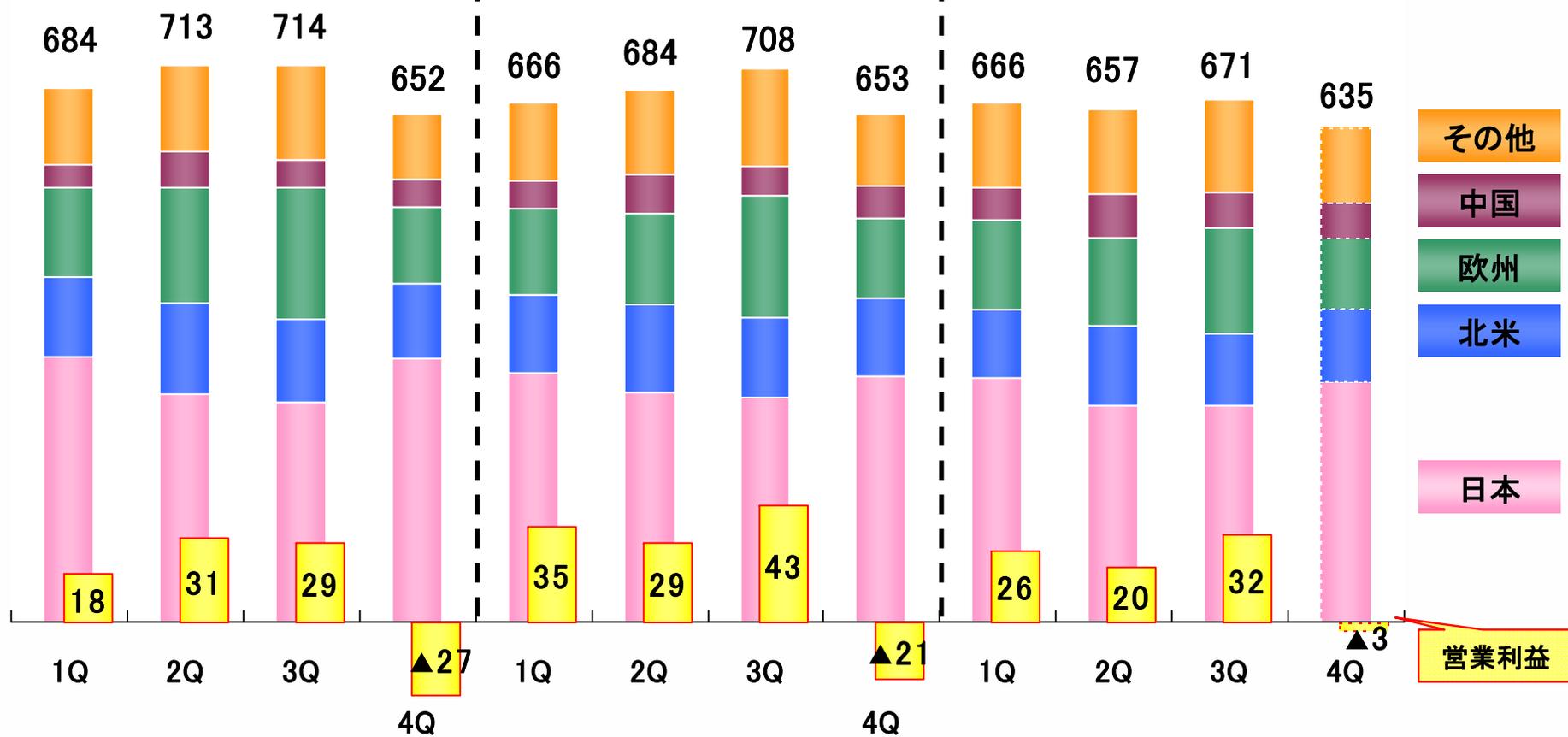


売上高 2,763億円
営業利益 51億円

売上高 2,711億円
営業利益 86億円

売上高 2,630億円
営業利益 75億円

(億円)



10/3期

11/3期

12/3期(予想)

電子部品四半期別売上高／営業利益

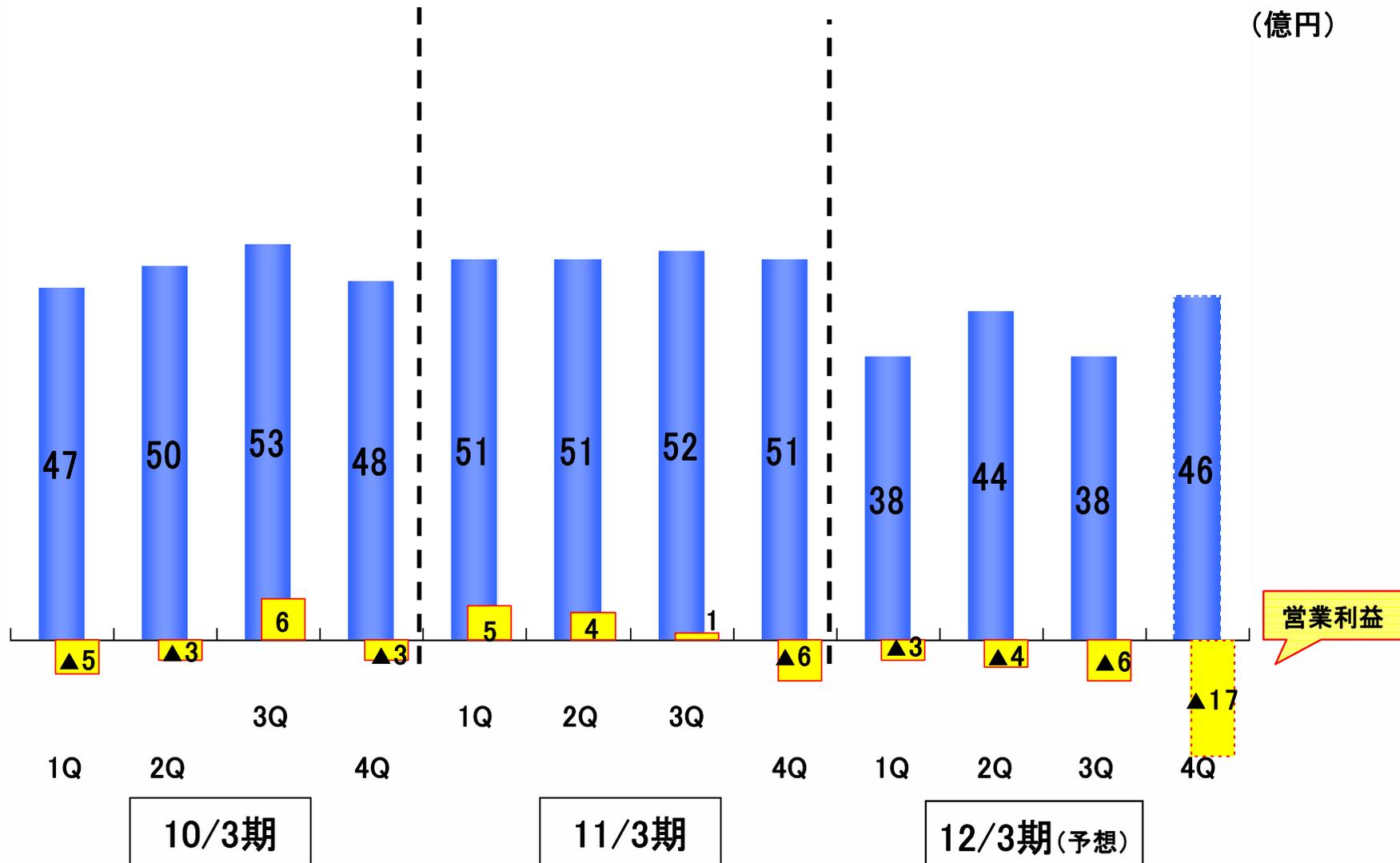


売上高 197億円
営業利益 ▲6億円

売上高 206億円
営業利益 5億円

売上高 165億円
営業利益 ▲30億円

(億円)



その他四半期別売上高／営業利益

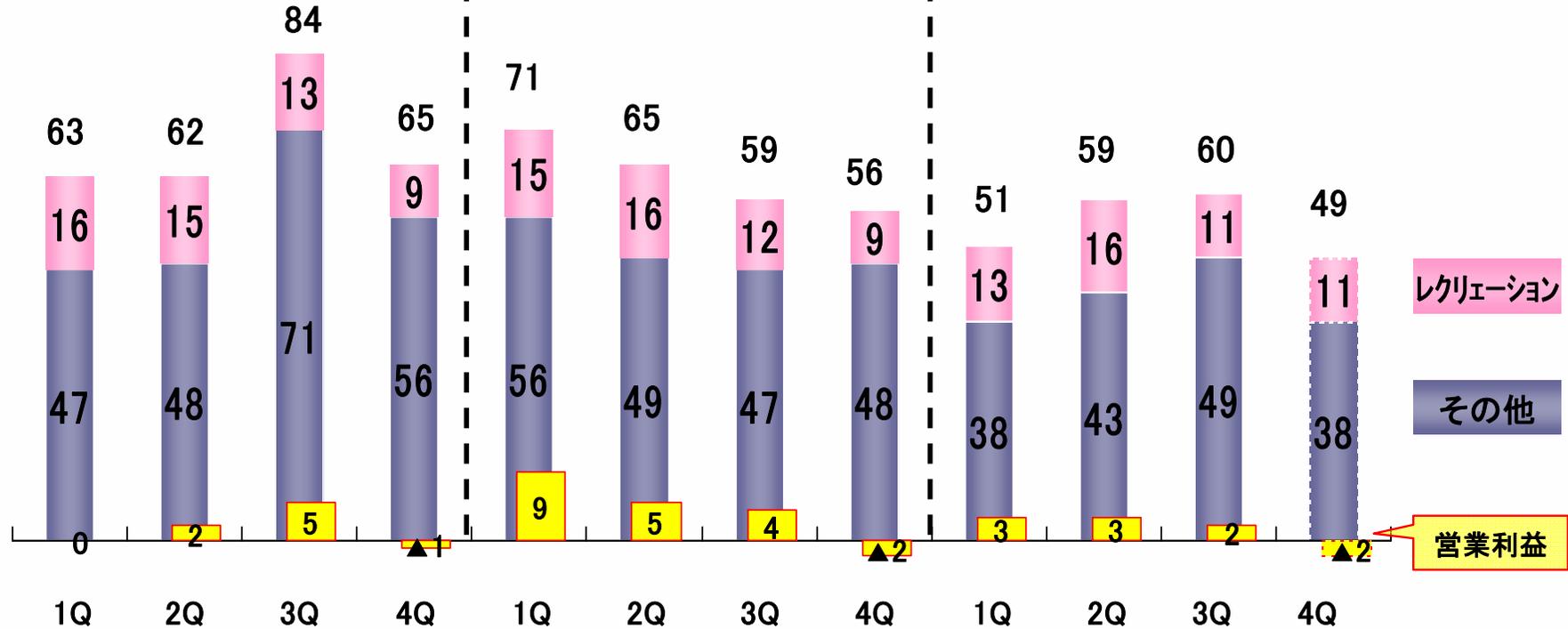


売上高 275億円
営業利益 5億円

売上高 251億円
営業利益 15億円

売上高 220億円
営業利益 5億円

(億円)



10/3期

11/3期

12/3期(予想)

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。